

ご挨拶

チャキチャキの江戸っ子の長男として生まれ、東京芸大、東京交響楽団と進んだ日の事を思うと、34年の長きにわたって大阪フィルハーモニー交響楽団に活動したことが夢のようです。フリーとなってから古都奈良の黒髪山に念願の音楽ホールを建て、あっという間に喜寿77才を迎えました。これも皆さまのご支援の賜物と存じます。

さて妻曜子の母方の親戚で往年の東京フィルハーモニー交響楽団の指揮者・作曲家の高田信一の「フルートのための5つの抒情詩」を、昨年青木明さんのご協力でJFCより出版しました。この曲をぜひ東京で演奏したいと思っていた所、その東京フィル首席の吉岡アカリさんと出会いました。彼とはちょうど20年前、大フィルがヨーロッパ演奏旅行した際に、私と同じくベルリン留学されており、かの地でお会いしております。この度音合わせは、世代の隔たりの微塵もなく、感慨無量のすばらしさでした。このような共演者との喜寿リサイタルとなりました事、皆さまに心より感謝し、さらなる精進を決意しております。 高橋成典



高橋成典 フルート たかはし・しげのり

1934年9月15日生まれ。東京都出身。東京藝術大学卒業。1956年、東京交響楽団入団。60年、大阪フィルハーモニー交響楽団に首席フルート奏者として入団、94年までの34年間首席奏者を務める。67年、カールハインツ・ツェラーの招きでベルリン国立音楽大学に留学。80年文化庁特別芸術家研修員として渡独。バロックから近代、現代まで幅広く演奏し、国内外で活躍。全国初の地方コンクール、摂津リトルカメラコンクールの創設に尽力する他、マリアカナルス国際コンクールなど内外の主要コンクールの審査にもあたる。06年、奈良の黒髪山に拡散方式による初の音楽ホールを竣工、さまざまな文化活動に力を注いでいる。日本フルート協会常任理事。



高橋曜子 ピアノ・作曲

たかはし・ようこ

大阪大学美学科卒業。同大学院修士課程修了。1982年-83年文部省派遣学生国際交流制度により、ケルン大学に留学。民族音楽学専攻。2000年「雅楽分析論」により博士号を授与される。作曲は独学で洋楽から箏、雅楽器まで幅広い分野の作品がある。日本の歌の編曲は楽譜「日本の抒情1, 2」、CD「ノスタルジア」とも好評を博し、NHKFMでもしばしば採りあげられる。



吉岡アカリ フルート よしおか・あかり

東京フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者。京都生まれ。1981年京都市立堀川高校音楽科(現京都市立音楽高校)を経て東京芸術大学入学。1985年安宅賞を受賞し、同団に首席奏者として入団。1993年文化庁在外研修員としてベルリンに留学、Aブラウに師事。

パウエル・フルート・ジャパン

(西新宿昭和ビル8F)
新宿駅中央西口より徒歩3分
営業: 10:30am ~ 7:00pm
定休日: 木曜(祝日は営業)

